

福企企発第48号
令和7年12月9日

〔外務大臣 茂木敏充 殿
防衛大臣 小泉進次郎 殿
防衛省北関東防衛局長 池田眞人 殿
防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長 佐々木輝男 殿〕

東京都福生市長 加藤育男

東京都福生市内に落下したパラシュートについて（抗議）

このことについて、令和7年11月20日（木）、福生市内の熊川児童館敷地内及び屋上に、米軍の主降下傘及び誘導傘（パイロットシュート）が落下する事故が発生した。

横田基地では、平成30年4月に羽村市内で発生したパラシュートの落下、平成31年1月に2日続けて発生したパラシュートの落下及び部品遺失、令和2年7月に立川市内で発生したパラシュートの落下及び福生市内で発生したフィンの落下、本年11月18日に羽村市内で発生した場外降着及びパラシュートの一部の落下、そして、この度の落下事故が発生するなど、降下訓練に起因する事故が多発している。

福生市では、東京都及び周辺自治体と連携して、その都度、事故原因の究明、再発防止のための措置、安全確保の徹底及びこれらに関する情報を関係自治体に速やかに提供することを強く要請している。

今般の事故は、原因究明と再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないことを再三要請してきた中で、本年11月18日に発生した場外降着について徹底した点検を実施し、パラシュート降下運用の安全性について確信が得られたため訓練を再開すると連絡を受けたその日に、子どもたちが集う児童館の敷地内で発生した、人命に関わりかねない大変重大な事故であり、また、事故発生に関する情報が米軍側から一切提供されないまま秘匿されていたこと及び許可なく市公共施設の敷地内に侵入していたことは、極めて遺憾である。

福生市は、日米安全保障条約に基づく横田基地の運用について、市域の3分の1を提供し、様々な問題を抱えつつも協力しているが、横田基地周辺は人口が密集した市街地であり、市民は航空機騒音に悩まされ、いつ発生するか分からない事故に不安な毎日を送っている。

市民の安全、安心を守る立場から、このような事故の発生及びこれまでの周辺自治体からの要請に対する対応は、真摯なものではなく、看過できるものではない。このことに対して、強く抗議する。

速やかに、今回の事故の発生状況を調査し、徹底した原因究明を行い、再発防止策を講じるまでは、同様の訓練を中止するとともに、これらのことについて、迅速かつ丁寧な説明を行うこと、また、基地の運用は、「安全」が最優先事項であることについて、改めて認識し、今後とも、周辺住民に不安や危険を与えることのないよう、基地運用に関して、安全対策の徹底を図ることについて、国の責任において米軍に対し要請するとともに、国として真摯に受け止めるよう、強く求める。